

ヒアリング項目

(会社・団体名 淡海フィランソロピーネット)

※以下の質問1～4について、お考えをお聞かせください。

質問1 これからの「地域福祉」に必要なものは何だと思いますか。

- ・ 少子・高齢化の進展、社会的孤立等を背景に、地域の課題は刻々と変化し、複雑化するなか、個々の企業が持つ強みと事業とをつなげること、さらには企業・団体のネットワークのなかで、企業市民として地域を支えるための仕組みづくりを考えていくことが必要なことと考える。

質問2 今現在、貴社・団体等が「地域福祉」のために取り組まれていることがあれば教えてください。

- ・ 「hana-wa」プロジェクト

作業所で働く障害のある方が集めたペットボトルキャップ等を原材料としたリサイクルプランターに、作業所で花・グリーンカーテンを植えるとともに、作業所による定期的なメンテナンスをセットとした商品を、公立大学法人滋賀県立大学「廃棄物バスターズ」との協働により開発。この商品を淡海フィランソロピーネットの会員企業・団体が購入（リース）するという協働関係により、環境保全、障害のある方の就労、障害者理解につながっている取組み。

- ・ チャリティバザー「カレンダー・手帳市」

各会員企業・団体が自社品や取引先からもらったカレンダー・手帳を持ち寄り、チャリティバザーとして1点100円で販売。その収益金を活用して上記のリサイクルプランター、花・苗を購入し、環境学習教材としてペットボトルキャップ収集に協力いただいている小学校の子どもたちに寄贈。

- ・ 災害ボランティア活動支援

東日本大震災、平成25年の台風18号災害等において、被災地へのボランティア派遣をはじめ、資機材、食料品、生活用品、衣料品等の提供等の支援活動を行った。

質問3 県が「地域福祉」を支援する上で、県に求められるものは何だと思いますか。

- ・ 淡海フィランソロピーネットは、阪神・淡路大震災を機に1996年に設立され、県内の企業や関係機関、団体との連携を図ること、企業・団体の社会貢献活動に関する普及、啓発、調査、研究、情報交換、交流を行うこと、そして地域社会にとってより魅力的かつ効果的な活動を推進することを目的に設立された。
- ・ 企業が企業市民として地域福祉を推進するための指針や方向性を明確に示していただくこと、そして企業・団体とともに考え、進めるパートナーとして、協働、連携をより一層図っていくことを県に求めたい。

質問4 その他、「地域福祉」について考えること、思うことがあれば教えてください。

- ・社会貢献・CSR活動という言葉も定着し、各会員企業・団体においてもそれぞれの持ち味を生かした活動が一定積み重ねられてきている。
- ・しかし、滋賀の地域課題に即した社会貢献活動が展開されているかという点では、滋賀の地域がいまどういった状況で、どのような課題があるのかが淡海フィランソロピーネット内で共通認識されていない現状があった。
- ・そのようなことから、今年度の「企業・団体のCSR・社会貢献活動セミナー」においては、滋賀の地域課題を知るとともに、滋賀を元気にするための今後の活動の方向性を考える機会を持ったところである。
- ・来年度で設立20周年という節目の年を迎えるにあたり、これからの10年を見据えた企業・団体が目指すべき地域社会のあり方について検討を進めていきたいと考えている。